

新しい市庁舎 Times

vol. 8
2021.11

新しく建て替わる市役所・市民広場の情報をお届けします！

新庁舎の完成イメージ図

市庁舎整備に関する基礎調査（平成30年度）や基本計画（令和元年度）の整備方針に基づき、また、市民報告会や説明会、パブリックコメントなどを通じて、市民の皆さまからいただきましたご意見やご提案を可能な限り反映して、令和3年7月に市庁舎整備基本設計をまとめることができました。ご協力ありがとうございました。



新庁舎は、上の絵のように、現在の市役所敷地の西側に整備することにより、庁舎前に大きく開けた空間を設けることができ、駅方向（南側）から旧市街地方面（北側）への眺望を確保することができます。また、市の風景計画に基づき、階段状の庁舎にこう配屋根を設けることで、圧迫感を抑えました。

その他に、南別館や商工会議所、税務署との連携がとりやすい配置となっていることや、南北両方の道路からアクセスできるようになっています。

※中面に新庁舎のポイントを掲載しています。

新庁舎の外観や内観を見学するように動画を試聴できます。



イメージ動画はこちらから



新庁舎の概要



4つの基本整備方針

誰もが相談しやすく居心地の良いハートフルな庁舎

防災拠点機能を有した連携が取れる庁舎

将来の環境変化に柔軟に対応する持続可能性の高い庁舎

機能や性能とコストバランスのとれたコンパクトな庁舎

新庁舎の概要

建設場所：現本庁舎敷地（桜宮町236番地）

階数・高さ：地上4階建て、約23.3m

延べ床面積：約9,000㎡（現本庁舎の約2倍）

構造：耐震構造、鉄骨造

駐車場：思いやり・車いす用6台＋来庁者用100台

事業費：庁舎建設45億円＋解体1.3億円

平面計画：1F 市民窓口、市民生活関連

2F 福祉・子育て関連

3F 総務・企画関連

4F 議会関連 を配置予定



基本設計概要版

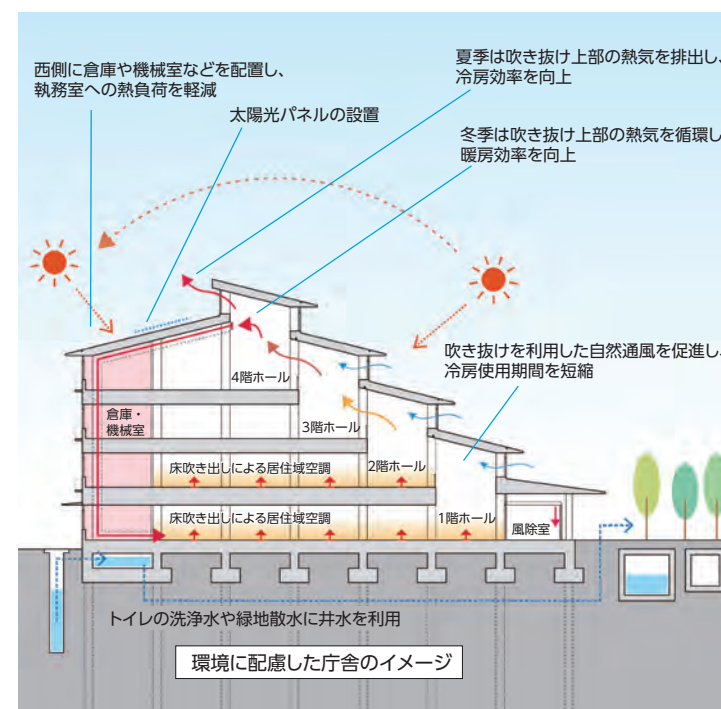
基本設計作成段階において、多く寄せられた疑問にお答えします。

階段状の庁舎はデザイン重視？



大きな方向性として、「市民サービスを最優先した庁舎」、「機能がシンプルな庁舎」「環境に配慮した庁舎」としています。特に、市民サービスを最優先に据え、シンプルな行政機能の配置を検討しました。結果、1階（3,000㎡）には、市民利用が多い戸籍・税・保険などの証明書発行や届出窓口などのほか、環境や交通、まちづくりなどの市民サービス部門を配置します。2階（2,500㎡）には主に、子どもから高齢者まで切れ目なく対応できる子育て、教育、福祉の相談窓口を配置します。また、3階（2,000㎡）には総務、企画部門を配置し、4階（1,500㎡）には議場や委員会室などの議会関連部門を配置します。それぞれの行政サービスに必要な面積の検討を行った結果、市民利用の多い低層階ほど床面積が大きく上層階ほど小さくなる階段状の形状となりました。

環境にやさしいの？



自然換気できる吹き抜けを設け、夏季は熱気を放出し、冬季は熱気を循環させます。また、こう配屋根の庇や西側にバックヤードを配置することで、執務室への熱負荷を軽減します。その他、太陽光発電パネルの設置、井水の利用などにより省エネルギーで環境に優しい庁舎とする予定です。エネルギー消費削減目標は、標準的な建物のエネルギー消費量の半分以上とする庁舎（ZEB Ready 庁舎）を目指します。

◇お問い合わせ◇

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地
近江八幡市 総合政策部 市庁舎整備推進室
TEL：0748-36-5577 FAX：0748-32-2695
E-mail：010428@city.omihachiman.lg.jp
<https://www.city.omihachiman.lg.jp/>
庁舎に関するご意見をお寄せください。
有益なご意見は実施設計において検討いたします。

新庁舎整備事業のホームページはこちら



近江八幡市役所 新庁舎整備のポイント

